

【『ツナイデコウ』とは？】

様々な年齢層の保護者が集まる機会をつくり、お茶を飲みながら、おしゃべりしています。自分が今いるところから、いろいろなことを感じて・伝えて・聞いて・吸収して…そんな時間になったらいいなと思っています。

あることで
「今」困っている…
と
「あの頃」困っていた…
そういうことってあると思う
聞いてみたい…伝えたい…

学校で子どもたちは縦のつながりをもつことが出来ている
この学校には小1から高3までの子どもたちが通っている
…ということは
子どもたちだけでなく
保護者にも身近に先輩後輩がいる
ということ

先輩の話を聞いて
「なるほど」「そういうことだったのか」
なんて思うのかもしれない
または
小さな子どもを今育てている保護者の話を聞いて
今まで歩んできた子育てを振り返ってみる
「なんだ、わたしもがんばってきたじゃん」
なんて思うのかもしれない

同じ学校に通う保護者同士
もっとつながれたら、どんなに心強いだろう…
子どもたちも見通しがないと不安なことが多いけど
わたしたち親だって、不安だ…